



高校駅伝の全国大会に初出場する岡崎学園高の選手たちと内田市長（後列右から2人目）＝岡崎市役所で

全国高校駅伝 全力誓う

岡崎学園 女子選手が市長訪問

全国高校駅伝県予選の女子で初優勝した岡崎学園高校駅伝部の選手八人が九日、岡崎市役所を訪れ、内田康宏市長に全国大会出場を報告した。

県予選は一日に知多市であり、岡崎学園は五区間21・0975キロを1時間8分23秒でたすきをつなぎ、八連覇中の強豪・豊川を破った。選手たちは、その日の赤いジャージ姿で優勝旗やメダルなどを披露した。四区を走った主将の

三年伊藤早紀さんは「えられるよう全力で走って、看板を背負って全国に「全国大会では、今更に出でてくれて、とてもうれしい。さらに上を目指して頑張る」と励む。全国大会は十二月二十日に京都市で開催される。（森田真奈子）

この記事・写真等は、
中日新聞社の許諾を得て転載しています